

インドネシア・日特建設(株) 実務訓練・海外研修

担当教員：松下 英次

研修場所：日特建設株式会社 インドネシア共和国 ジャカルタ
<http://www.nittoc-id.co.id/>

研修期間：夏季休業期間中、7～8日間
引率教員は原則有（往路のみ引率の場合あり）

滞在方法：現地ホテル（2024年度は Horison Ultima Suites & Residences Rasuna）

対象学年：本科4～5年および専攻科

募集人数：最大4名程度

研修内容：

日特建設は、他社にはない特殊な技術を生かして海外に進出している企業です。そのような現場を通じて、国内での工事と海外での工事の違いを学び、今後国際的に活躍する技術者に向けて、それらの知見を深めるための研修を行います。プログラムは以下のとおりです。なお、建設機械等も含まれるため、C科・CE系に限らず参加可能です。

- ・日本の本社における渡航前研修(1日)
- ・現地におけるの現場研修、JICAや日本大使館訪問(3日)
- ・研修にて得られた知見のまとめおよび報告会(1日)
- ・インドネシア国内のインフラ見学(2日・参加者の希望に応じて)
- ・ジョグジャカルタにある世界遺産の見学(1日)

費用：合計32万円程度

内 訳	金 額	備 考
現地経費（移動・食費等）	30,000円	
宿泊費	50,000円	2名1室利用により安くすることが可能
航空機代	200,000円	時期等により若干の変動あり
ビザ申請費	20,000円	先方にご準備いただける可能性あり
海外旅行保険	10,000円	
その他	10,000円	国内移動等
合 計	250,000円	

その他：

建設分野における高度な技術を学ぶことができるとともに、JICAや日本大使館等への訪問を通じて、日本の技術援助のあり方を学ぶことができます。インドネシアでは、90%以上がイスラム教徒です。そのことを十分理解して行動しなくてはなりません。現地でのコミュニケーションでは英語を利用することも多いので、日常会話程度の英語力があるとなお良いでしょう。

現地の機材センター見学の様子（建設機械メンテナンスや機材・部品の管理が重要です）



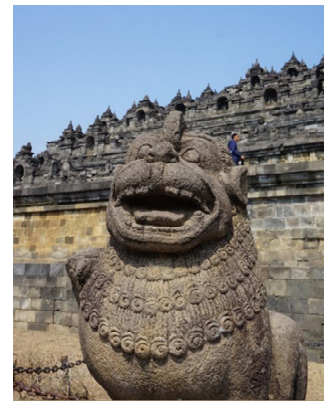
現場見学の様子（発電所や MRT、下水施設等のインフラ建設現場を見学します）



世界遺産の見学

インドネシアの京都とも言われるジョグジャカルタの世界遺産の見学も可能です。
ポロブドゥール寺院（写真上）
プランバナン寺院（写真下）

※希望に応じて、バリ島の
ヒンズー寺院・遺跡でも可。



食事の様子

左からソトアヤム（鶏肉スープ）、ナシゴレン（旨辛焼き飯）
サテ（焼き鳥）とスープ（辛くないものも多いです）

